



好学愛知 自律敬愛 質実剛健

鶴丸イ言

鹿児島県立鶴丸高等学校

〒890-8502 鹿児島市薬師二丁目1番1号

TEL 099-251-7387 FAX 099-255-3433

http://www.edu.pref.kagoshima.jp/sh/Tsurumaru/top.html

「述懐—怒号の先に」

数学科 中野 浩一

今回の『鶴信』では、令和2年度で定年退職を迎える2人の先生方に、寄稿とインタビューをお願いしました。

「数学は深淵にして芸術のごとく美しきもの」と感じたのは、2回目の大学4年生のときだった。精神的に追い詰められるほど真摯に学問と向き合った末、かすかに感じるものができた「数学」の本質だった。

私は、大学4年間の単位なんか、修得だけじゃなければ4か月くらいで十分だろうという思い上がりを持ち、3年生まで勉強は全くせずにバイトに明け暮れていた。しかし、4年生になると、入学時の初心を思い出し、数学の最先端を覗くため、大学院に行こうと一念発起して動いてみた。4年生から始まるゼミが大事だと考え、当時世界的権威であり、指導の厳しさで有名だったI教授のゼミを選んだのだ。怠け者の私を、厳しいI教授に鍛えていただき、面倒をみていただこうという都合の良い発想である。だが、単位をなかなか取れないことでも有名なI先生の下にやってきたのは、私とクラス1の才女Kさんの二人だけだった。

週1回のゼミは2時間、教授が指定した洋書の内容を学生が説明する形で行われ、私とKさんが隔週で担当した。Kさん担当の週はそれはそれはスムーズに進み、I教授のご機嫌もよろしく、2時間きちんとゼミが行われた。残念ながら私にはKさんが説明していることの半分も理解できなかったが、高校時代友人が数学で苦しんでいたときの気持ち理解できるようなった。一方、私の担当する週は散々なものであった。教授の質問攻めにあい、答えに詰まると「馬鹿」「無能」と罵声と怒号を浴びせられる。最後に机を一発ドンと叩き退室して行かれる。この繰り返しで、まともに2時間もつたことがあったらどうかという状態だった。自分の回が終わる度に、「ああ、今日も上手くいかなかった」と半ば放心状態

態で、「自分は何者？」と窓の外のメタセコイヤの樹をボウッと日暮れまで眺める。そしてようやく正気を取り戻し、次の回まで2週間独りまた課題に取り組み、この繰り返しが一度も無かった。しかし、この繰り返しも夏頃にはどうにも立ち行かなくなると、絶対に教えてくれないと分かっているが、長髪を5厘に丸めて教授へ相談に行き、教授は待ってましたと言った。すると、教授は待ってましたと言わばかりに「君はこれで勉強を直したと言いたい」と、易しめの本を差し出された。この年、教授に教えてもらったのはその本の存在だけである。私はそれから数か月、その本で勉強し、ゼミで説明をした。止まらない怒号の中で。そして年度末、「このままでは納得いかないのゼミの単位を落とすてくさい」とI教授に申し出た。これは留年を意味する。教授は「単位を下さいと言ってくる学生は多いが、落としてくれれば、君は前代未聞だ」と言われた。皮肉を言われたのだらうが、「前代未聞」の言葉が心地良かったことを覚えている。

2回目の4年生が始まった。期待していた新しいゼミ生は無く、毎週I教授と一対一で対峙することになった。前日は寝付けず、当日は罵声と怒号の嵐、机を叩いて教授が退室した後、日暮れまでメタセコイヤをボウッと眺める、の連続だった。3年生まで何も勉強してこなかった自分に腹が立つた。それでも何とか頑張ってやってきたことが身に付いてきたのか、数学の本質が少し見えてきたように思えてきた。「数学は深淵にして芸術のごとく美しきもの」と感じられてきた。数学の入り口に立つことができたのかもと思えた。数学は機材も何もいらぬ。紙と鉛筆さえあれば、あとはひたすら自分との闘いである。そこを経て、初めて得られる自分だけの納得や自分の世界感みたいなものが得られる。謙虚になつて勉強してこそ、入り口にたどりつける。私は、I教授に出会わなければ、ただ単位を修得するだけの大学生活を送っていたと思う。学問の入り口に立ち、立ったからこそ見えるその先の奥深さを感じることができて、本当に良かったと思う。

卒業式の日、I教授に挨拶に行く。「君には数学を教えたつもりはない。それよりもっと大切な『勉強に対する姿勢』を教えたつもりだ」とおっしゃった。そして「これから本格的に勉強するだろう。2年間のスケジュールを組んでおいたよ」と言われた。プライドの高いI教授が、劣等生の私のために多くの先生方に頭を下げて、私の大学院での指導を頼んで下さっていたのだ。しかし、経済的理由で進学できなかったと伝えると、教授は無言になってしまった。その後のことは、よく覚えていない。ただ、卒業パーティーが終わって自宅に戻り、何時間も泣いたのは覚えている。私は高校で数学を教えながら、何の学問でもないけれど、さらなる学びを求めて進んでほしいと思ってきた。私のように遅く気が付くことがないように。そして、自分自身には、「勉強に対する姿勢」を伝えられる教師でありたいと願ってきた。I教授ほど立派でなくても、何かを伝えられる教師になれていたら嬉しく思う。

Q 「これまでの勤務地を教えてください。」  
A 「地区で言うと始良地区、鹿児島地区、離島地区の3地区で、国分高校を皮切りに沖永良部高校、鹿児島玉龍高校、加治木高校、そして鶴丸高校の5校です。」

Q 「印象に残っている出来事はありますか？」  
また、それはなぜですか？  
A 「印象に残っているというより、いい体験をさせてもらったという点で、全ての勤務校で専門のいない体育系部活動の正「代表」顧問となったこと。私自身は体育系部活動の経験が全くと言ってよいほどないからです。」

Q 「英語科の教師として、意識してきたことがあったら教えてください。」  
A 「英語という言語材料を通して何を教えるか、具体的に『教科書で何をどのよう風に教えるか』ということ、できる限り念頭において、授業計画・授業実践を心がけてきたつもりです。」

勤務した学校のほとんどは、普通科進学校と呼ばれるところ。しかし、生徒の実情は異なり、生徒たちが求めるものも違いました。例えば商業系専門高校では生徒たちの実情は大きく異なり、生徒たちの英語力を上げるといふよりむしろ、英語を通して何を学ばせるか、に日々苦しみました。」

Q 「鶴丸高校の生徒達の印象を教えてください。」  
A 「授業を通して感じた『知的好奇心の旺盛さ』です。英語の知識・情報・理解を前提としたものももちろんですが、それを超えた、新しい物事や未知の事柄をより良く知りたいと思う自発的で意欲的な心の持ち主が多い。」

4月の行事予定

Table with 4 columns: 月日曜, 行事等. Rows include 学年始休業日, 新任式, 学年朝会, 教育相談, 創立記念日, etc.



森孝志先生(英語科)

Q 「これまでの勤務地を教えてください。」  
A 「地区で言うと始良地区、鹿児島地区、離島地区の3地区で、国分高校を皮切りに沖永良部高校、鹿児島玉龍高校、加治木高校、そして鶴丸高校の5校です。」

Q 「印象に残っている出来事はありますか？」  
また、それはなぜですか？  
A 「印象に残っているというより、いい体験をさせてもらったという点で、全ての勤務校で専門のいない体育系部活動の正「代表」顧問となったこと。私自身は体育系部活動の経験が全くと言ってよいほどないからです。」

Q 「英語科の教師として、意識してきたことがあったら教えてください。」  
A 「英語という言語材料を通して何を教えるか、具体的に『教科書で何をどのよう風に教えるか』ということ、できる限り念頭において、授業計画・授業実践を心がけてきたつもりです。」

勤務した学校のほとんどは、普通科進学校と呼ばれるところ。しかし、生徒の実情は異なり、生徒たちが求めるものも違いました。例えば商業系専門高校では生徒たちの実情は大きく異なり、生徒たちの英語力を上げるといふよりむしろ、英語を通して何を学ばせるか、に日々苦しみました。」

Q 「鶴丸高校の生徒達の印象を教えてください。」  
A 「授業を通して感じた『知的好奇心の旺盛さ』です。英語の知識・情報・理解を前提としたものももちろんですが、それを超えた、新しい物事や未知の事柄をより良く知りたいと思う自発的で意欲的な心の持ち主が多い。」

※上の行事予定はあくまでも予定です。変更になる場合もありますので、ご了承ください。

令和3年度定期人事異動

この春の人事異動が発表になりました。これまで本校の発展のためにご尽力くださった先生方、本当にありがとうございました。

Table with 4 columns: 氏名, 教科等, 転出先等. Lists staff changes including 月野功, 今村孝一郎, 武富幸司, etc.



Q 「これからの若者（or鶴丸生）に伝えたいことがあったら教えてください。」  
A 「21世紀の今、膨大な量の情報にさらされている。このような世界で、情報の意味を理解したり、重要なものとして何より大量の情報の断片を結びつけ、世の中の状況を幅広く捉える能力がさらに求められる。この3年間で育んだ「4つのC」、すなわち「critical thinking（批判的思考）」「communication（コミュニケーション）」「collaboration（協働）」「creativity（創造性）」をさらに高め、変化に対処し、新しいことを学び、馴染みのない状況下でも心の安定を保つ能力を身につける必要がある。レジリエンス（不利な状況に対処する力）を、言い換えれば、精神的な柔軟性と、情緒の安定を持ち、かかってない変化と不確実性に満ちたこの社会を生き抜き、活躍してほしい。」